



地域学校協働本部だより

令和5年12月1日発行
港区立赤羽小学校 校長
地域コーディネーター
地域学校協働本部担当

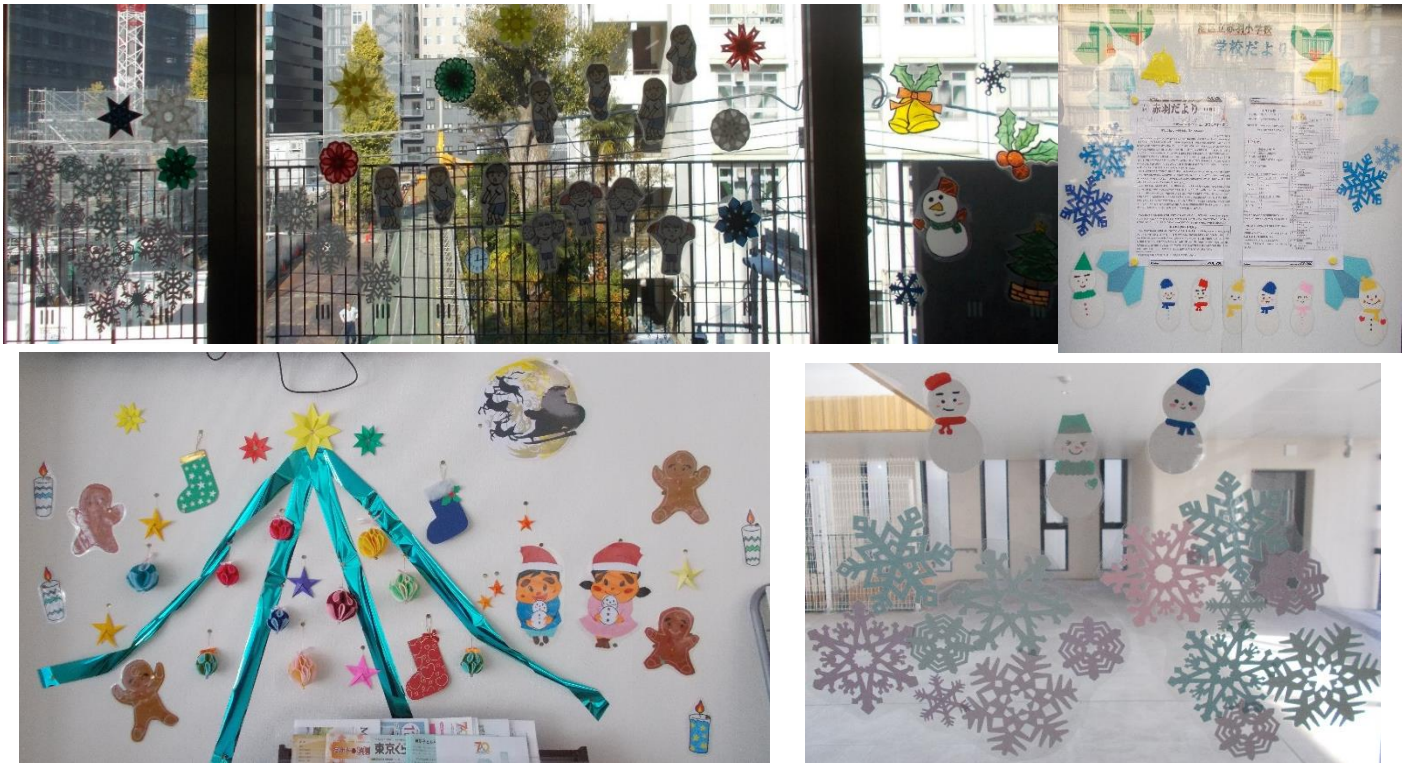
NO.7
中村 美奈子
石川 啓子
大藪 淳子
小林 砂織
湯浅 敬則

12月の玄関装飾

12月は、冬をテーマにした装飾です。長縄大会に向けて、寒さに負けずクラスごとに力を合わせて取り組んでほしいという思い込めて、作りました。冬の楽しいイベントをイメージして、ツリーの周りに星や長靴、ローソクなどの可愛らしい飾り付けました。

また、玄関の入口や学校の外壁に飾られている学校だよりのガラスケースの中にも、雪だるま、雪の結晶といった冬を感じる飾りを付けました。

子供たちが冬を感じる、素敵な装飾になりました。ご来校した際は、ぜひご覧ください。



「年の瀬」は時の流れを川の流れて比喻したことば

江戸時代の川柳などで使われた風流な表現

流れが緩やか
= 瀬

流れが速い
= 瀬

年の終わりが差し迫って瀬のように時が慌ただしく流れていく...

年の瀬だねえ...



師走に入りました。

「師走」学校の先生方も年の瀬近くなると忙しそうです。師走の師は、誰のことか分かりますか？

師は、先生では、ありません。お坊さんのことです。

どうしてお坊さんが走るの？ 昔の日本では、年末になると多くの家庭で、ご先祖様の供養を行う習慣がありました。あちこちの家庭に呼ばれてお経を唱えるために忙しく走り回った僧侶(お坊さん)の姿から、師走は民間語源とされ「師馳ス」が「師走」の字が当てられました。

「年の瀬」は時の流れを川の流れてに比喻した言葉で瀬と呼ばれる場所が早いことから来ています。